

2019年度

飯塚いきものマップ 作成事業

～ 飯塚市健康の森公園 ～

筑豊の自然を楽しむ会



自然体験の次のステージへむけて

- * 地域の自然を楽しむ
→環境教育の第一歩
- * 積み重ねた体験をカタチにする
- * もっと生き物と親しみ、学べる
機会づくりへ



自然体験の次のステージへむけて

* 地域の自然を楽しむ →環境教育の第一歩

子供達が身近な自然で楽しく遊べるのが、自然を大切に作る心を育む、環境教育の第一歩です。飯塚市内には自然豊かで楽しく遊べる場がたくさんあります。そのフィールドをいかして、2012年より飯塚市と連携し飯塚自然体験プログラムを行ってきました。これまで、年間を通じて自然観察会と工作やクッキングなど体験プログラムを実施し、むしなど生き物、自然が好きな子供達と保護者の方が数多く参加しました（年に約20回開催、参加者各回平均20名程度）。



自然体験の次のステージへむけて

* 積み重ねた体験をカタチにする

これまで飯塚市内6ヶ所で継続的に実施してきた観察会では、その日その場所で見つけた生き物の名前をまとめる「いきものしらべ」を行ってきました。本格的な生物調査のように網羅するわけではないですが、天候ごと、季節ごとによってみられる生き物の違いがわかったり、知らなかった生き物の名前を覚えたりできる機会となっています。またフィールドノートに、その名前などを一生懸命書き取る子供達の姿もみられるようになり、幼かった子供達も、楽しむから学ぶへと成長しています。



自然体験の次のステージへむけて

* もっと生き物と親しみ、学べる 機会づくりへ

そこで次のステップとして、本事業を立ち上げました。

さらに多くの子供達に、飯塚の自然や生き物への興味を持ってもらうこと、そして、今までの体験活動の経験、実績をいかしてさらに深く学べる機会をつくることを目標に、子供達が手にとって、楽しめる「いきものマップ」を作成したいと考えました。飯塚にどんな生き物が暮らしているのか、普段見かけるあの生き物はどんな名前で、どんな暮らしをしているのか、などが少しでもわかるように、またそのフィールドへ興味を持てるようにデザインしました。



新しいタイプのいきものマップに挑戦

- * フィールド調査、データ整理、地図データの作成
- * クリアファイルマップと季節の生き物の情報シートマップ
- * 興味をひく工夫～生き物ぬりえ
- * 2019年は、夏・秋冬のシートを作成し「健康の森」が完成。

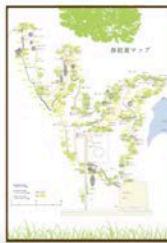


新しいタイプのいきものマップに挑戦

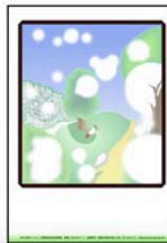
クリアファイルタイプの新しい 「いきものマップ」



クリアファイルマップ 表面
フィールドの地図と樹木とその樹形範囲などの情報がのっています。



情報シートマップ(表面)
シートは季節ごとに分かれていて、クリアファイルマップに入れるとその季節にみられる生物がわかります。



クリアファイルマップ 裏面
森のイラストが描かれています。丸い窓のところは透明で、シートを入れると...



情報シートマップ 裏面
季節ごとの生き物のイラストと解説がのっています。またぬりえをしてクリアファイルに入れて楽しんでもらえるようになっています。

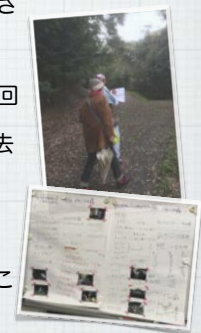
新しいタイプのいきものマップに挑戦

* フィールド調査、データ整理、地図データの作成

飯塚市自然体験プログラムでは、飯塚市健康の森公園を中心に「いきものさがし」を行ってきました。そこで初年度はここをフィールドとしたいきものマップを作成することにしました。まず、2018年4月～9月にかけて、約10回のフィールド調査を行い、並行してそれまで「いきものさがし」で集めた過去5年間のデータの入力も行きデータの整理をしました。

9月～12月にも順次データ入力作業を行い、これまでのデータも含めると200種以上となり、生物の種数が多く、一度に全て掲載すると見にくくなることが懸案されました。したがって、種数を厳選しさらに、

季節ごとに分けて見やすくする ことにしました。



新しいタイプのいきものマップに挑戦

* フィールド調査、データ整理、地図データの作成

また、季節ごとに移動がなく固定となる樹木データを入れたマップを用いて、実際のフィールドを歩いてみると、違和感を感じ、元の地図データがズレがあることが判明しました。携帯端末などを使い、GPSでログをとり新たに地図を作成しました。そして、修正した地図に樹木をプロットしなおして、再度、実際に何人かで歩いて確認し、わかりやすい地図にすることができました。



新しいタイプのいきものマップに挑戦

* クリアファイルマップと季節の 情報シートマップの組み合わせ

2019年1月～3月にデザイナーとデータ作成作業を行い、クリアファイルとシートの印刷を行いました。クリアファイルマップの表面は、季節によって変化のない地図と樹木とその樹形範囲などの情報を掲載。

情報シートマップは、3つの季節に分かれており、その季節に見られる生物の情報を掲載。情報シートマップをクリアファイルマップに入れるとその季節にみられる生物と位置がわかるようになっています。

煩雑にならないよう、アイコンなどを用いて少しでも

見やすくなるようデザインしてもらいました。



desing : sakatakaya

新しいタイプのいきものマップに挑戦

* 興味をひく工夫～生き物ぬりえ

生き物にあまり関心のない子どもに向けて、裏面は生き物のイラストとぬりえにしました。

クリアファイルマップの裏面は、森のイラストを描き、丸い窓のところは透明で、情報シートを入れると季節ごとの生き物のイラストと解説が見えるようにしました。ぬりえは、生き物を図鑑やネットで調べ、写真などをみたりして色をつけながら、観察し興味を持ってもらえることをねらって工夫をしました。



普及活動

- * 飯塚市教育長への贈呈
(2019年5月22日)

- * 環境副読本として
飯塚市の小学4年生に配布
(2019年6月)

- * 自然体験プログラム「いいねん！」
参加者への配布(健康の森)
「生物多様性ゲーム」の開発実施



生物多様性ゲーム



* 観察会での活用、「生物多様性」を観察会で実感できるゲームを開発

完成したいきものマップを使って「生物多様性」を身近な自然の中で発見できるゲームを企画、実施しました。

午前中はフィールドで自然観察。いろんな生き物を探し、ふれたりして親しみます。それぞれのマップシートに見つけた生き物書き込んで、今日、自分だけのいきものマップをつくりました。午後はどんな生き物がいたのかみんなでもふりかえりをして、「生物多様性」について簡単に説明。健康の森には何種類いたのか、どんな自然環境にどんな生き物がいたのかなどまとめました。



生物多様性ゲーム

今日見つけた生き物と、飯塚いきものマップにのっている生き物達の名前を好きなのを選んで色分けした付箋にかいて、一枚の画面に貼り付けていきました。選んだ生き物によって、ポイントがもらえ、たくさん貼り付けたり、他の人とかぶらない珍しいものを書くポイントがもらえるゲームです。

最後は、生き物のグループで色分けしたので、多様な生物が生きていることが、とてもわかりやすくなりました。



さらに、これから。

* 自然体験プログラムでのマップの活用

* 次のフィールド「勝盛公園」
(他5箇所)の地図作成と生物調査の
開始

* スポンサー、協賛の募集

